



《春》4.12 [日] 15:00 | 開演 14:00 | 開場

指揮：ソン・ミンギュ Conductor: Song Min Gyu
(第2回ひろしま国際指揮者コンクール 第2位)

フルート：石井希衣 Flute: Kie Ishii
(2022 神戸国際フルートコンクール 第3位)

ピアノ：南杏佳 Piano: Kyoka Minami
(2024 ピティナ・ピアノコンペティション 特級グランプリ)

イベル：フルート協奏曲
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲イ短調作品43
ディーリアス：春初めてのカッコウを聞いて
エネスク：ルーマニア狂詩曲第1番イ長調作品11-1

四つの国の音楽から「純音楽物語」

《秋》10.31 [土] 15:00 | 開演 14:00 | 開場

指揮：ロマン・レシェキン Conductor: Roman Reshetkin
(第1回ひろしま国際指揮者コンクール 第2位)

トロンボーン：ファブリス・ミリシェー Trombone: Fabrice Millischer
(2007 ミュンヘン国際音楽コンクール 優勝)

ギター：大萩康司* Guitar: Yasuji Ohagi
(1998 ハバナ国際ギターコンクール 第2位)

客演コンサートマスター：ティボー・ギエンゲ
客演首席トランペット：ライントホルト・フリードリヒ**
リムスキイ＝コルサコフ(リンドバーグ編曲)：トロンボーン協奏曲
ロドリゴ：アランフェス協奏曲*
リムスキイ＝コルサコフ：交響組曲「シェエラザード」作品35**

スペインの抒情と
アラビアンナイト「千夜一夜物語」

《冬》2.6 [土] 15:00 | 開演 14:00 | 開場

指揮：大井駿 Conductor: Shun Oi
(第1回ひろしま国際指揮者コンクール 優勝)

ファゴット：門田奈々 Bassoon: Nana Kadota
(広響首席奏者)

ヴァイオリン：前田妃奈 Violin: Hina Maeda
(2022 ヴィエニアフスキ国際ヴァイオリンコンクール 優勝)

ウェーバー：ファゴット協奏曲ヘ長調作品75
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調作品64
ハチャトゥリアン：バレエ「スノバルタクス」組曲第1番

ドイツの伝統と「古代ローマ物語」



広響名曲コンサート
《STORIES》

エキゾチック・オーケストラ
(協奏曲&管弦楽曲フェイヴァリット)

「名曲」—それは、ミューズ（音楽の女神）の世界に咲く多彩な花々。
名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。
2026年度は「ひろしま国際指揮者コンクール」の入賞者3名をそれ
ぞれ指揮者として迎え、各回で2名のソリストを起用、毎回2曲の名曲
コンチェルトを。そして豪華オーケストラによる管弦楽曲ではルーマ
ニア、アラビア、古代ローマといった様々な異国情緒が薫る（音楽と
物語）をお楽しみください。

広島国際会議場フェニックスホール

広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)

料金(1回分)

¥5,000(ペア¥8,000) A¥4,000 B¥3,000 (学生¥1,500)

*税込・全席指定 *学生は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取り扱い)

あなただけのマイシート

コンサート会員のご案内

s¥12,000 A¥9,600

名曲コンサートへは、1回券より断然お得な会員がおすすめです!
シリーズ全3公演を同じお席でご鑑賞いただけます。お申し込みは広響事務局までお電話ください。

受付
4/8
まで

チケット発売日 [春] — 2月13日(金) [秋] — 4月16日(木) [冬] — 11月5日(木)

チケット取扱い JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響webチケット、広響事務局

*就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

*やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。公演の最新情報は広響ホームページにてご確認ください。

主催：広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社
特別協賛： 中国電力

協賛：株式会社花満・広島県医師会・広島市医師会

後援(春公演)：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

お問い合わせ

広響事務局 Tel.082-532-3080 [受付時間／平日 9:00～17:20]
<http://hirokyo.or.jp>
広響公式ホームページ▶





広響名曲コンサート

音楽の花束〈春・秋・冬〉

出演者プロフィール

《STORIES》

〈春〉



指揮:ソン・ミンギュ

Song Min Gyu, Conductor

韓国の指揮者。2024年、第2回ひろしま国際指揮者コンクールで第2位の後、グイド・カンテルリ国際指揮者コンクールで優勝。

これまでにベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン放送交響楽団、ベルリン国立歌劇場、ボーフム交響楽団、フランクフルト・オーダー国立管弦楽団、コットブス州立劇場、マクデブルク劇場、ノイブルンデンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ニュルンベルク交響楽団、イエナ・フィルハーモニー管弦楽団、チェコ室内フィルハーモニー等を含め、20以上の欧州のプロオーケストラを指揮。

国内外のマスタークラスやフェスティバルに参加し、サー・ロジャー・ノリントン、ヨハネス・シュレーフリ、マルクス・ステンツ、オスモ・ヴァンスカ、マーティン・ジガート、セバスチャン・ラングレッシング、マンフレッド・ホーネック等、数々の世界的に著名な指揮者に師事。こうしたマエストロらに認められ、副指揮者を務めたほか、国際舞台でも精力的に活動している。

〈秋〉



指揮:ロマン・レシェキン

Roman Reshetkin, Conductor

音楽一家に生まれ、自身も指揮者である父親を持つロマン・レシェキンは、若くしてヴァイオリニストとして音楽を始める。故郷ニース(フランス)で研鑽を積んだ後、2014年にモスクワで開催された「第8回若い音楽家のためのチャイコフスキ国際コンクール」で第2位を獲得。

その後、パリ国立高等音楽院でアラン・アルティノグルに指揮を学ぶ。学生時代には、ミッコ・フランク、ベルトラン・ド・ビリー、アレクサンドル・ブロッホ、ヨハネス・シュレーフリなど経験豊富な指導者から学んだ。

これまでに、フランスのカンヌ管弦楽団、ハンガリーのブダフォック・ド・ナーニ管弦楽団、台湾のエバーグリーン・シンフォニー・オーケストラ、フランス国立ロワール管弦楽団、広島交響楽団などのプロオーケストラと共に演奏。

2022年、第1回ひろしま国際指揮者コンクール第2位。

〈冬〉



指揮:大井 駿

Shun Oi, Conductor

1993年東京都生まれ。幼少期を鳥取市で過ごす。2022年に第1回ひろしま国際指揮者コンクールで優勝および細川賞を受賞、2025年には第21回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門で第2位ならびに古典派交響曲ベストパフォーマンス賞を受賞。高校卒業後に渡欧し、パリ地方音楽院ピアノ科、ミュンヘン国立音楽演劇大学古楽科、ザルツブルク・モーツアルテウム大学ピアノ科・指揮科卒業、ならびに同大学指揮科・ピアノ科修士課程、バーゼル・スコラ・カントルム大学院フォルティピアノ科を修了。

これまでに国内外の主要オーケストラと指揮者・ソリストとして共演するほか、オーストリア国営放送ORF「Ö1 Talentbörse」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのメディアにも出演。音楽之友社Webマガジン「ONTOMO」連載など、執筆活動も積極的に行っており、様々なフィールドを横断する稀有名若手音楽家として注目されている。



フルート:石井 希衣

Kie Ishii, Flute

福岡県出身。2022年第10回神戸国際フルートコンクール第3位、第88回日本音楽コンクール第2位、第19回日本フルートコンヴェンションコンクール第1位など、数々のコンクールでの優勝や入賞の実績を持つ。ソリストとして東京フィル、横浜シンフォニエッタなど数多くのオーケストラと共に演奏。またオーケストラでの客演も多数。桐朋学園芸術短期大学、桐朋オーケストラ・アカデミーを修了し、東京藝術大学別科を経て、パリ・エコール・ノルマル音楽院を修了。2021年、22年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2025年6月、「RMF&山田和樹 グローバルプロジェクト」の一環として、山田和樹指揮／モンテカルロ・フィル公演(モナコ)におけるソリスト公募オーディションで選ばれ、武満徹作品で共演した。同年7月にはKOBE国際音楽祭2025エマニュエル・パユ プロデュース「オープニング・コンサート」に出演。



ピアノ:南 杏佳

Kyoka Minami, Piano

大阪府出身。幼少期を米国ボストンにて過ごす。京都市立芸術大学卒業後、ボストン音楽院修士課程、Graduate Performance Diploma課程を修了。現在、授業料全額免除の奨学生を得てArtist Diploma課程に在学。リベラン・ブレーント交響楽団、サンパウロ青少年交響楽団、ボストン音楽院管弦楽団、ルブリンセンター・オーケストラ(ポーランド)、東京フィルハーモニー交響楽団、

関西フィルハーモニー管弦楽団に出演、指揮者の角田鋼亮、粟辻聰、藤岡幸夫氏と共に演奏。ピティナC級、Jr.G級、F級、G級全国大会入賞、堺国際ピアノコンクール一般部門第1位ならびにオーディエンス賞受賞。2019年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。2024年、ルイスヴィル湖国際ピアノコンクール第3位、および第48回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ併せて聴衆賞受賞。MBSラジオ、FM横浜、FM大阪等に出演。甲斐環、Alice Wilkinson、クラウディオ・ソアレス、服部久美子、田村響、Max Levinson各氏に師事。現在、ボストン在住。



トロンボーン:ファブリス・ミリシェー

Fabrice Millischer, Trombone

ファブリス・ミリシェーは、2007年にミュンヘン国際音楽コンクールで優勝すると、ヨーロッパで最も才能のあるトロンボーン奏者の一人としての名声を確かなものにした。ソリストとしても人気が高く、ウィーン室内管弦楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団、ロシア国立エルミタージュ交響楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、カンヌ交響楽団、ウクライナ国立管弦楽団とも共演。自身のツアーでは、ワシントン、北京、東京、ソウル、ミュンヘン、ジュネーヴ、パリなどで公演している。フランスのクラシック音楽大賞である「ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージーク・クラシック」で「最優秀若手ソリスト賞」をトロンボーン奏者として初めて受賞した。また同年、フランスの権威ある音楽大賞「シャルル・クロ・アカデミー」でシルバー・メダルを獲得。現在はフライブルク音楽大学およびパリ国立高等音楽院でトロンボーンの教授を務めている。



ギター:大萩 康司

Yasuji Ohagi, Guitar

高校卒業後にフランスに渡り、パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクール第2位、合わせて審査員特別賞「レオ・ブローウェル賞」を受賞。その後4年間イタリアのキジアナーナ音楽院でオスカーニ・ギリアに師事し、4年連続最優秀ディプロマを取得。これまでにNHK「トップランナー」「スタジオパーク」から「ららら♪クラシック」やMBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアへの出演多数。ラ・フォル・ジュルネTOKYO、セイジ・オザワ松本フェスティバル、東京・春・音楽祭等の日本における代表的な音楽祭のほか、モスクワ、コロンビア、台湾等海外の国際フェスティバルにも定期的に招かれている。2025年に演奏活動25周年を迎えた。第6回ホテルオーケラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学、大阪音楽大学各客員教授。公式WEBサイト yasujoohagi.com 公式Instagram [@yasujoohagi_official](https://www.instagram.com/yasujoohagi_official) 公式X [@yasujoohagi](https://twitter.com/yasujoohagi)



ファゴット:門田 奈々

Nana Kadota, Bassoon

愛媛県松山市出身。12歳よりファゴットを始める。愛媛県立伊予高等学校卒業の後、松山大学経済学部卒業。松山で、クラリネット奏者三宅晋氏に音楽の基礎知識を学ぶ。東京藝術大学別科修了。ファゴットを河村幹子氏に、別科在学時には室内楽を三界秀実、池田昭子の各氏に師事。桐朋オーケストラ・アカデミーにて、ファゴットを岡本正之、井上俊次、坪井隆明の各氏に師事。第二回日本ファゴットコンクール入選。現在、広島交響楽団首席ファゴット奏者。



ヴァイオリン:前田 妃奈

Hina Maeda, Violin

2022年第16回ヘンリック・ヴィエニアフスキ国際ヴァイオリンコンクールで優勝し、国際的に注目を集める新進気鋭のヴァイオリニスト。卓越した技術と類い稀な表現力で高く評価されている。2013年全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位、2019年日本音楽コンクール第2位及び岩谷賞(聴衆賞)、2020年東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞など輝かしい受賞歴を誇る。11歳で関西フィルと共に演奏したのをはじめ、国内の主要オーケストラと共に演奏多数。リサイタル、室内楽やアウトリーチにも積極的に取り組んでおり、22年から23年には20ヵ国、60地域での演奏会、東京、大阪でのリサイタル、オーケストラと共に演奏した。2022年度 大阪文化祭奨励賞受賞。第25回(2023年度) ホテルオークラ音楽賞、第33回出光音楽賞受賞。公益財団法人江副記念リクルート財団第48回奨学生。現在、東京音楽大学アーティスト・ディプロマコース在学中。使用楽器はサントリー芸術財団より貸与された、1727年製ANTONIO STRADIVARI。